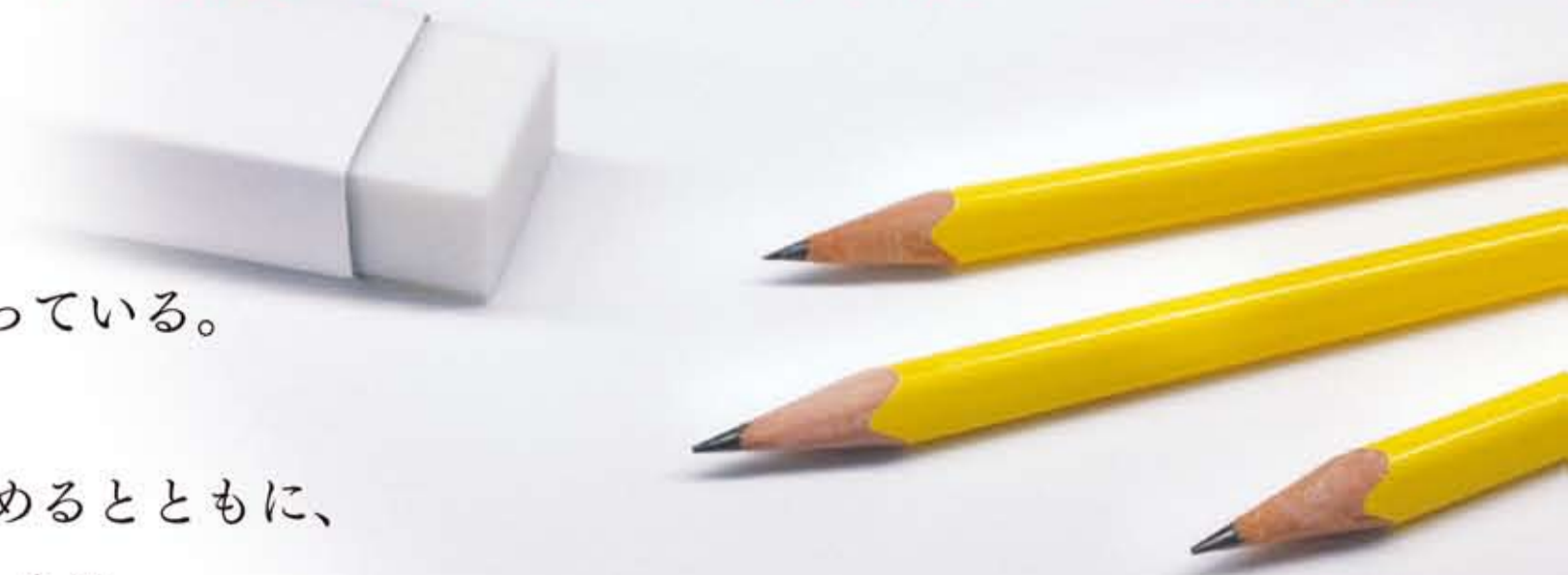


新たな未来を築くための人材育成と教育の接続

グローバル化、少子高齢化、情報化等の急速な進展や教育を巡る状況の変化の中で、予測が困難な時代を生き抜く人材の育成が急務となっている。小・中・高等学校及び大学の教育関係者が一堂に会し、専門的・実践的知見を交流する中で、相互の理解を深めるとともに、グローバル時代の人材の育成等、新たな未来を築くための教育の実践について研究協議を行うものである。



基調講演
13:30~14:30

「秋入学と総合的教育改革」 ~タフで、グローバルな学生を育てるために、大学はどう変わり、社会は何をすべきか~

清水孝雄 東京大学理事・副学長

1973年東京大学医学部医学科卒業。京都大学医学部文部教官助手、スウェーデン カロリンスカ研究所客員研究員(1982~86年)、東京大学医学部助教授等を経て、1991年東京大学医学部教授。医学系研究科附属疾患生命工学センター長、医学系研究科長・医学部長等を経て、2011年より現職。



パネルディスカッション 「グローバル時代の人材育成と小・中・高・大の接続」 14:40~16:55

パネリスト

義務教育の立場から

山本 直俊
春日市教育委員会
教育長



1966年福岡県公立小学校教諭。公立小学校教頭、校長、県教育庁義務教育課主幹指導主事、人事管理主事、県教育センター教育経営部長、福岡教育事務所長等を経て、2005年より現職。福岡県市町村教育委員会連絡協議会教育長部会会長。

高校教育の立場から

白石 隆佳
福岡県立
筑紫丘高等学校長



1983年福岡県立高校教諭。高校教育課指導主事、県立高校教頭、教職員課人事管理主事、春日高等学校長等を経て、2011年より現職。福岡県公立高等学校長協会会長。

大学教育の立場から

有川 節夫
九州大学総長



1966年九州大学大学院理学研究科修士課程修了。理学博士(九州大学)。九州大学助手、京都大学助手等を経て、1985年九州大学教授に就任。大型計算機センター長、附属図書館長、理事・副学長等を歴任。2008年より現職。

企業の立場から

渡辺 朱美
レノボ・ジャパン(株)
代表取締役社長



1986年九州大学理学部数学科卒業。日本IBMに入社し、製品開発 エンジニアの経験の後、日本・アジア地域のノート・パソコンの営業・マーケティングを担当。2000年には米国IBMに赴任し、コーポレート・ストラテジーの一員として、コーポレート全体の戦略の一翼を担う。日本に帰国後、2005年に日本IBMの執行役員に就任し、サーバーやストレージなどのハードウェア事業を統括、2007年には米国に再び赴任し、全世界のハードウェアの技術営業を統括など、日本とグローバルのビジネスの経験豊富。2012年より現職。

コーディネーター **丸野 俊一** 九州大学理事・副学長

1972年鹿児島大学教育学部卒業。教育学博士(九州大学)。1994年九州大学教育学部教授。大学院人間環境学研究院長・学府長、理事・副学長、附属図書館長を経て、2011年基幹教育院長に就任し、現在に至る。



〈お申込みフォーム〉 お申込みは、FAXまたはE-mailにてお願いします。

お名前	所属
お名前	所属

お名前	所属
お名前	所属

問い合わせ

九州大学学務部入試課 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 TEL:092-642-2264

FAX 092-642-2267 E-mail nyuhosa@jimu.kyushu-u.ac.jp